

**平成23年度 第1回 東京都地方独立行政法人評価委員会  
高齢者医療・研究分科会議事概要**

**1 日 時**

平成23年7月7日 木曜日 午後2時59分から午後4時52分まで

**2 場 所**

東京都庁第一本庁舎33階南側 特別会議室S2

**3 出席委員**

高久分科会長、河原委員、近藤委員、鈴木委員、南委員（分科会長を除き、五十音順）

**4 議 題**

- (1) 平成22年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績報告等について
- (2) 平成22年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績評価（案）について
- (3) 事前評価の論点整理について
- (4) 平成22年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの財務諸表等に対する意見聴取について

**5 報告事項**

- (1) 中期目標期間終了後の評価等の取組について
- (2) 今後の評価スケジュールについて

**6 議事概要**

開会

事務局より内藤委員の辞任及び近藤委員の就任の報告  
高久分科会長が近藤委員を分科会長代理に指名

- (1) 平成22年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績等について  
健康長寿医療センターから、平成22年度の業務実績（資料1）及び平成21年度及び22年度の2か年の業務実績に係る自己評価（資料2）について報告

**【質疑応答・委員意見】** 太字ゴシックが委員意見

**資料1 血管病医療の取組について、t-PA治療を積極的に実施したとあるが、脳梗塞のうち何パーセントくらいの患者がt-PA治療を受けたのか。**

（健康長寿医療センター回答）

10パーセント以内

**認知症疾患医療センターの指定は23年度から始まるのか。**

（健康長寿医療センター回答）

国内で先行している県はあるが、東京都は23年度から。現在申請中である。

**栄養サポートチームは栄養士が中心になっているのか。**

（健康長寿医療センター回答）

当院では、嚥下障害の患者がかなりいるので、栄養士の他、内分泌内科の医師、リハ

ピリ科の医師、歯科・口腔外科の医師、薬剤師でチームを組んでいる。

**東日本の震災を受けて、新施設の設計・設備を変更した等の影響はあったか。**

(健康長寿医療センター回答)

新施設は免震構造で設計が進められている。今回の程度の地震であれば十分に耐えられる設計であり、特設設計は変更していない。

**専門相談における認定看護師とは、どのような認定を受けた看護師なのか。**

(健康長寿医療センター回答)

認知症の認定看護師と皮膚・排泄ケアの認定看護師。地域の施設からの、患者の異行動への対応に関する相談や尿失禁、スキンケアに関する相談に対応できる看護師を配置している。

**医療連携には公開CPCが必要だと考えるが、外部の方も多く参加されているのか。**

(健康長寿医療センター回答)

4、5年前から始めたが、珍しいこともあり多くの先生が参加されていた。最近では、参加者が固定化する傾向があるが、昨年は年間延べ27名の先生が参加した。

**看護体制は7対1になったのか。**

(健康長寿医療センター回答)

昨年の7月より7対1看護体制を取っている。

**心臓外科の患者数が減ったことは、人員体制が十分でないことが原因の一つと聞いているが、対策の目処が立っているか。**

(健康長寿医療センター回答)

今年の10月を目途に、新たなチーム編成による体制を整える予定。患者数回復のきっかけになればと考えている。

**治験の受託件数が減少していると同ったが、原因は如何。**

(健康長寿医療センター回答)

当院では、以前から認知症や生活習慣病といった限られたフィールドの中で治験を受託してきた。SMOを活用し、情報を収集して治験を選択していく方式に変えたため、今後は件数を回復できると考えている。

**健康長寿医療センターには様々な会議が存在しているようだが、それぞれの会議の役割や位置づけは明確になっているのか。また全体の統治体制に問題はないか。**

(健康長寿医療センター回答)

理事会や新たに設置した常務会をはじめ、病院運営会議や経営改善委員会等の各種会議体については、それぞれの役割、開催回数、メンバーなどを定め、運営している。病院では法的に義務付けられている会議もあり、会議の数が多い。適切な体制となるように、常に見直しを行っている。

**部門別の原価計算等のコスト管理に関する進捗状況は如何**

(健康長寿医療センター回答)

現在、原価計算を行うための体制作りに取り掛かっている。

( 2 ) 平成 2 2 年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績評価 ( 案 ) について

**【質疑応答・委員意見】** 太字ゴシックが委員意見

組織のガバナンスについて言及すべきではないか。

研究成果の普及や地域とのかかわりあいについては、大変重要なテーマだと認識しているが、経営と相入れないため、なかなか取組みは難しいと認識している。ただ、この点について言及しておけば、努力してもらえるのではないか。

地域連携については在宅療養支援や地域連携パスという形で取組を進めているので、今後も地域の医師会や医療機関と連携して、成果を地域に還元することを期待したい。収入への影響は一概には言えないが、最終的には、患者確保につながる可能性はある。

( 3 ) 事前評価の論点整理について

事務局より、資料 5 の説明。

( 4 ) 平成 2 2 年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの財務諸表等に対する意見聴取について

事務局より、資料 6 , 7 の説明

その他

事務局より、今後の分科会の開催等について説明